

情報公開文書

患者さんへ

「血清尿酸値と糖尿病細小血管障害の関連についての横断研究」について

研究責任者：

（施設名） 東久留米駅前クリニック

（名前） 山本 かをり

【はじめに】

高尿酸血症は痛風や腎疾患、心血管疾患のリスク因子として知られ、様々な生活習慣病と関連していることが明らかになっています。高尿酸血症は、2型糖尿病発症のリスク因子でもあり、糖尿病の細小血管障害(神経障害、網膜症、腎症)の進展に寄与する可能性も示唆されています。これまでの研究では、尿酸値を下げることで糖尿病性網膜症や腎症の進展を遅らせる効果があることが示されているものの、高尿酸血症治療薬による合併症の抑制効果については明らかになっていません。

本研究では、血清尿酸値と糖尿病細小血管障害の関連について、高尿酸血症治療薬の使用の有無を考慮し、横断的に調査することを目的としています。将来的に、前向き研究や介入研究に発展させることができれば、合併症の予防や治療に役立つことが期待されます。

【対象者】

糖尿病データマネジメント研究会(JDDM)の参加施設において、データベース(CoDiC)へ登録されている患者さんを対象としています。

（組み入れ基準）

1. 2000年～2026年7月に初診の1型と2型糖尿病患者さん
2. 血清尿酸値の測定を行っている

（除外基準）

1. 1型糖尿病、2型糖尿病以外の病型の可能性がある患者さん
2. HbA1cの検査データが欠損している
3. 合併症の情報が欠損している

【対象となる患者様にご協力いただきたいこと】

該当する患者さんの診療情報を本研究に使わせていただくことです。使用する診療情報は、通常診療で得られたもののみであります。

【研究に用いる試料・情報の種類】

年齢、性別、糖尿病型、罹病期間、喫煙・飲酒状況、治療薬の処方内容、合併症情報、検査情報（身長、体重、BMI、血圧、血液・尿検査データ）を用います。

【研究期間】

2025 年 8 月 1 日 から 2031 年 3 月 31 日 まで

【研究参加の辞退について】

CoDiCへのデータ提供拒否の申し出は、理由にかかわらず随時受け付け、診療録に記録を残すとともに、申し出に従い、今後データ収集は行わない旨、リーフレットを用いて説明しています。ただし、既に解析担当者に提出されたデータに関しては、既に様々なプロトコルで研究が進行しているため、申出者のデータを削除することは出来ません。

【研究の方法】

1. 高尿酸血症の有無によって2群に分類します。年齢、性別、罹病期間、検査情報、治療薬、合併症について2群の比較を行います。高尿酸血症治療薬の種類毎にも分類して比較します。
2. 血清尿酸値と糖尿病細小血管障害、高尿酸血症治療薬と糖尿病細小血管障害の相関関係について解析し、検討します。
3. 年齢、性別、罹病期間、検査情報、治療薬、大血管障害など複数の要因が糖尿病細小血管障害に与える影響を解析し、検討します。

【個人情報保護の方法】

CoDiC データベースから得られたデータは、氏名・住所等が削除され、施設名に新たなコード番号を付し(仮名化)、データ解析施設に送られます。施設コード番号の対応表は研究会事務局で保管されます。解析実施責任者は解析データを適切に管理します。

【研究終了後の情報・データの取り扱い】

研究終了日から5年間保存した後、事務局がシュレッダーにて廃棄します。研究データは引き続き匿名化した状態で保管します。

【研究成果の公表】

日本糖尿病学会や糖尿病に関連する学術誌において結果の公表を予定しています。

【研究実施体制】

研究責任者名: 山本 かをり
所属先: 東久留米駅前クリニック
所属先役職: 院長

【問い合わせ窓口】

この研究についてのご質問やご自身・ご家族のデータが本研究に用いられているかどうかをお知りになりたい場合、あるいは、本研究への診療情報の使用について辞退されたい場合など、この研究に関することは、通院先の研究窓口担当者または下記の窓口までお問い合わせください。

○研究内容に関する問い合わせ窓口

一般社団法人 糖尿病データマネジメント研究会事務局
〒305-0812 茨城県つくば市東平塚 715-1
電話: 029-852-1882 E-mail: info@jddm.jp